

これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力を育むための単元デザインシート（1単元 ver）

| | | |
|-----------------|------------|-------------|
| 学部の核：春 | 対象学級 | 小学部1組・2組・3組 |
| 単元名：『やりたい!』みつげ隊 | 指導の形態：地域活動 | 児童生徒数 |
| 実施時期：5月～6月 | 授業時数：6時間 | 担当者 |

単元の目標・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）との関連

| 単元の目標 | | くらし | しごと | よか |
|--------------|--|-----|-----|----|
| 知識及び技能 | <ul style="list-style-type: none"> 自分で活動を選択することを知り、選ぶ。 身の回りに様々な遊びや遊びの場があることを知り、そこで安全に遊ぼうとする。 | | | |
| 思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 写真やカードを貼ることや指差し・言葉などで、自分の考えを伝える。 一人で好きな遊びをしたり、同じ場にいる教師や友達とかかわりながら遊んだりする。 きまりを守り、安全に移動しようとしたり、活動しようとしたりする。 自分が好きな遊びが何かを考え、遊びや行き先を選び、選んだ内容を教師や友達に伝える。 | ○ | ○ | ◎ |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> 自ら好きな遊びや行き先を選び、楽しんで活動に参加する。 次にしたい遊びや行きたい場所を考え、期待感をもち。 | | | |

単元の目標の達成・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て

| | |
|----------|---|
| 主体的な学び | <ul style="list-style-type: none"> 児童が興味・関心をもつ遊びや場所を設定し、自己決定・自己選択の場面を設定する。 映像や写真、作品などで、自分の活動を振り返り、次時の見通しや期待感をもちさせる。 |
| 対話的な学び | <ul style="list-style-type: none"> 教師に自分の思いや考えを伝える場面や、友達の発表に注目する場面を設定する。 大きな掲示板に、それぞれのやりたい遊びや行きたい場所を貼ることで、友達の選択に注目させる。 映像や写真を用いて、自分や友達の活動を見る機会を設定する。 |
| 深い学び | <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな遊びや行き先を考えて選び、選んだ内容を教師や友達に伝えることを繰り返し行う。 自分で遊びや場所を選択することが、将来、児童生徒がやりたい活動や行きたい場所を自主的に選択することに繋がることを意識する。 |
| 他の学習との関連 | （ねらいの共有）設定された選択肢の中から自分で選び、楽しく活動する。 わくわくタイム：植物を育てよう 体づくり：好きなダンスを選ぼう 音楽活動：好きな楽器を選んで鳴らそう ことば・かず：学校図書館で本を読もう （題材の共有）身の回りの様々な遊びや遊びの場を活用する。 制作活動：シャボン玉の道具を作ろう 遊び活動：前庭で遊ぼう、シャボン玉をしよう |
| 地域との関連 | 地域の活用（公共施設の利用）、地域を意識（学校図書館の利用、目的に応じて活動場所を選択する） |

単元の計画（※別紙資料）

単元における学習状況の評価

| | |
|---------------|--|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 自分で活動を選択することを知り、選んでいたか。 身の回りに様々な遊びや遊びの場があることを知り、そこで安全に遊んでいたか。 |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 写真やカードを貼ることや指差し・言葉などで、自分の考えを伝えていたか。 一人で好きな遊びをしたり、同じ場にいる教師や友達とかかわりながら遊んでいたか。 きまりを守り、安全に移動しようとしたり、活動しようとしたか。 自分が好きな遊びが何かを考え、遊びや行き先を選び、選んだ内容を教師や友達に伝えていたか。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 自ら好きな遊びや行き先を選び、楽しんで活動に参加したか。 次にしたい遊びや行きたい場所を考え、期待感をもちていたか。 |

単元における個別の評価及び達成度 評価基準 A：できた B：概ねできた C：できつつある

| 児童生徒 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|-------|--|--|
| a | A | A | A |
| b | A | A | A |
| c | A | A | A |
| d | A | B バランスボールやアスレチック遊具など、一人で活動できる遊びをすることが多かった。 | B 選択肢に遊びたい活動があるときは、意欲的に選択していた。 |
| e | A | A | A |
| f | A | A | A |
| g | A | A | A |
| h | A | A | A |
| i | A | A | A |
| j | A | A | B 本人が笑顔で活動している様子は見られたが、遊ぶ内容が固定化していた。 |
| k | A | A | A |
| l | A | B 友達とかかわり合いながら、活動することは少なかった。 | B 単元を通して、同じ遊びを選ぶことが多かった。 |
| m | A | A | A |
| n | A | A | A |
| o | A | A | B 視覚的支援を手がかりに、行きたい場所や、遊びたい内容をイメージできるようにする。 |
| p | | | |
| q | A | A | A |

単元構成の評価

| | |
|---|---|
| 実施時期： <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ） | 授業時数： <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ） |
|---|---|

単元の目標設定について（資質・能力との整合性は図れていたか、児童生徒の実態に合っていたか）

| | |
|--------------|--|
| 知識及び技能 | <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ） |
| 思考力・判断力・表現力 | よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ）（どんな実態の児童でも、自分で好きな遊びを工夫したり、思いや要求を適切に伝え、人とかがわりが生まれたりできるよう、支援ツールや物理的環境を用意する必要がある。） |
| 学びに向かう力、人間性等 | よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ）（学びを定着させ、次回への期待感ももてるよう、導入および振り返りの継続と工夫が必要である。） |

単元の目標の達成・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て

| | |
|----------|---|
| 主体的な学び | <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ） |
| 対話的な学び | <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ） |
| 深い学び | よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ）（自分の選択が、自己の生活や、将来に生かせるような学び（公共施設見学、利用、鑑賞、買い物など）を継続的に計画し、繰り返し行う。自己選択や自己決定について地域活動の授業で取り上げたのは今回が初めてのため、資質・能力として定着するよう改善していきたい。） |
| 他の学習との関連 | （ねらいの共有）よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ）（自己選択・自己決定の機会は、様々な学習活動の中で設定できるのではないかと。より多くの機会ももてるよう、わくわくタイムや遊び活動などの領域でも実施していく。） <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 地域との関連 | （題材の共有） <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 要改善（ ） <input type="checkbox"/> 未実施 |

その他特記事項等

※単元の計画

| 次 | 時 | 学習概要 | 評価計画 | | | 単元の目標の達成やこれからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て | | |
|---|-----------------------|--|--|--|--|---|--|---|
| | | | 【知識・技能】 | 【思考・判断・表現】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 一 | 1・2 (5/21 5/28) | 自分で選んで遊ぼう！① 好きな遊びができる場所 を行き先を選ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分で活動を選択することを 知る。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分で好きな遊びがで きる場所を考え、選択 する。 写真カードを貼ること や指さし・言葉などで、 自分の考えを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> 自ら好きな遊びや行き 先を選び、楽しんで活 動に参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> 自己決定・自己 選択の場面 の設定 振り返り場面 の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 注目させる 互いの活動を見 合う 受容・表出の支 援 発表場面の設 定 | <ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表 現の場面設定 将来への繋が りを意識 |
| 二 | 3・4 (6/3 6/17) | 自分で選んで遊ぼう！② 自分のやりたい遊びを選 び、遊びに応じた場所へ 行く。 ・前庭（シャボン玉） ・体育館（かくれんぼ、鬼 ごっこ、しっぽ取り） ・図書館（DVD、読書、 ぬり絵、お絵かき） | <ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びに応じた場 を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分でやりたい遊びを 考え、選択する。 写真カードを貼ること や指さし・言葉などで、 自分の考えを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> 自ら好きな遊びや行き 先を選び、楽しんで活 動に参加する。 次にしたい遊びや行き たい場所を考え、期待 感をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 自己決定・自己 選択の場面 の設定 振り返り場面 の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 注目させる 互いの活動を見 合う 受容・表出の支 援 発表場面の設 定 | <ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表 現の場面設定 将来への繋が りを意識 |
| 三 | 5・6 (6/23 6/30) | 自分で選んで行こう！ 遊ぼう！ ・北美原公園（すべり台、 ブランコ、砂あそび、 鬼ごっこ、虫探し、お はなつみ） ・前庭（シャボン玉、遊具、 自転車、鬼ごっこ、ポー ル遊び） ・図書館（DVD、読書、 ぬり絵、お絵かき） | <ul style="list-style-type: none"> 自分で活動を選択する ことを知り、選ぶ。 身の回りに様々な遊び や遊びの場があること を知り、そこで安全に 遊ぼうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が好きな遊びが何 かを考え、遊びや行き 先を選び、選んだ内容 を友達や教師に伝え る。 一人で好きな遊びをし たり、同じ場にいる教 師や友達とかかわりな がら遊んだりする。 きまりを守り、安全に移 動しようとしたり、活 動しようとしたりす る。 | <ul style="list-style-type: none"> 自ら好きな遊びや行き 先を選び、楽しんで活 動に参加する。 次にしたい遊びや行き たい場所を考え、期待 感をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 自己選択・自己 決定の場面 の設定 振り返り場面 の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 注目させる 互いの活動を見 合う 受容・表出の支 援 発表場面の設 定 | <ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表 現の場面設定 将来への繋が りを意識 |

これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力を育むための単元デザインシート（1単元 ver）

| | | |
|---|--------------|------------------------|
| 学部の核：体育祭 | 対象学級 | 中学部全学年 |
| 単元名：きりのめ体育祭でGO！ ～私たちのきりのめ体育祭を成功させよう～ | 指導の形態：くらすタイム | 児童生徒数 |
| 実施時期：5月28日～6月22日 | 授業時数：11時間 | 担当者 |
| | | 18名（1年：6名 2年：6名 3年：6名） |
| | | 若山 山下 鈴木美 澤口 林田 他3名 |

単元の目標・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）との関連

| 単元の目標 | | くらし | しごと | よか |
|--------------|---|-----|-----|----|
| 知識及び技能 | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭の日程や内容、係活動を知り、見通しをもって活動する。 自分が担当する係の役割を知り、その活動に取り組む。 | | | |
| 思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 担当する役割について理解して、自分の考えを仲間に伝える。 仲間が活動する様子や意見に注目したり、協力して活動したりする。 | ◎ | ○ | |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> 活動内容を理解し、体育祭に向けて目的意識をもって取り組む。 お互いの役割を理解して、自ら進んで活動に取り組もうとする。 | | | |

単元の目標の達成・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て

| | |
|----------|---|
| 主体的な学び | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭の取組の目的を明確にし、見通しをもたせる。 |
| 対話的な学び | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭の取組内容を連絡・報告する場面を設定し、自他の取組の成果やよさへの気づきを促す。 |
| 深い学び | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭の取組を工夫したり自らの役割を果たしたりする中で、自他のよさに気づき、主体的に活動できるようにする。 |
| 他の学習との関連 | <p>（ねらいの共有）体育祭の取組に見通しをもち、進んで取り組む。 地域活動：案内状を送ろう チャレンジ学習：保護者への案内文を作ろう、振り返りをしよう 体育活動：陸上に取り組もう （題材の共有）いか踊りで体育祭を盛り上げる。 造形活動：いか踊りのお面やうちわを作ろう 音楽活動：いか踊りを踊ろう</p> |
| 地域との関連 | <p>地域を意識（函館の伝統的な「いか踊り」を扱い、いか踊りのお面を作ったり、作った物を実際に使用して踊ったりする。） 地域への発信（それらの取組の成果を発表する。）</p> |

単元の計画（※別紙資料）

単元における学習状況の評価

| | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭の日程や内容、係活動を知り、見通しをもって活動していたか。 自分が担当する係の役割を知り、その活動に取り組んでいたか。 |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 担当する役割について理解して、自分の考えを仲間に伝えていたか。 仲間が活動する様子や意見に注目したり、協力して活動したりしていたか。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 活動内容を理解し、体育祭に向けて目的意識をもって取り組んでいたか。 お互いの役割を理解して、自ら進んで活動に取り組もうとしたか。 |

単元における個別の評価及び達成度 評価基準 A：できた B：概ねできた C：できつつある

| 児童生徒 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|---|--|---|
| a | A | A | A |
| b | A | B ・仲間に考えを伝える際の表現について、教師が提示したものの中から選んで伝えることができた。 ・仲間が活動する様子に注目することは難しかった。 | A |
| c | A | B ・仲間に応援グッズを使って応援してほしいことを伝える際に、教師の促しを受けてうちわを振って伝えることができた。 | B ・活動内容について概ね理解し、保護者に見てもらおう意識をもちながら活動することができた。係の報告の際は、教師による促しを受けながら行うことができた。 |
| d | A | B ・自分が担当する役割については理解し、活動に取り組むことができた。 ・自分の考えを仲間に伝えたり、協力したりすることは難しかった。 | B ・個人目標を設定する際、教師が示した選択肢をもとに考えることができた。仲間の役割については、部分的な理解が見られた。 |
| e | B ・提示されたスケジュールに沿って、教師と一緒に種目や係の活動に取り組むことができた。 ・体育祭に関わる一連の活動に見通しをもつことは難しかったが、 | B ・教師と一緒に係活動を紹介するための実演を行ったり、用具を片付けたりすることができた。 ・仲間の活動する様子や意見に注目することは難しかった。 | B ・提示された選択肢の中から選ぶなどしながら、教師と一緒に体育祭の個人の目標を設定しようとしていた。 |
| f | A | B ・仲間が活動する様子に注目し、「いいね」など簡単な言葉で意見を伝えることができた。 ・自分の考えを仲間に伝えることは難しかった。 | B ・係の報告や、体育祭当日のあいさつは、教師や仲間による促しを受けながら行うことができた。 |
| g | B ・体育祭の日程や内容、係活動について概ね見通しをもって活動に取り組んでいた。 | B ・仲間が活動する様子にも注目し、仲間と分担した仕事に進んで取り組んだ。 ・役割は理解していたが、自分の役割について仲間に伝えることは難しかった。 | A |
| h | A | A | A |
| i | A | B ・同じ係の仲間の様子を見ながら、その役割を理解して、一緒に活動に取り組むことができた。 ・仲間に自分の考えを伝えることは難しかった。 | A |
| j | A | B ・自分なりの表現で考えを伝えたり、仲間の活動に興味をもって見たりしていた。 ・他者の役割について、より具体的に、視覚的に示すことで、協力して取り組むということの理解を深められたと思われる。 | B ・意欲的に取り組むことができた。興味関心が自分のことや気になったことに向きがちなので、お互いの役割について理解することは難しかった。 |
| k | A | B ・自分の役割を意識して活動に取り組むことができた。 ・仲間と協力することについての意識を強くもつことが難しかった。 | A |
| l | B ・体育係の役割を概ね理解し、教師と一緒に練習に取り組む姿が見られた。 | C ・活動に興味をもち、教師と一緒に係の取組を仲間の前で実演することができた。 ・仲間の活動に注目したり協力して活動したりすることは難しかった。 | B ・活動自体を楽しみ、意欲的に取り組むことができた。 ・お互いの役割を理解することは難しかった。 |
| m | - | - | - |
| n | A | B ・教師と一緒に自分の係の取組を仲間に伝えることができた。 ・仲間の活動の様子に関心をもつことが難しかった。 | B ・ラジオ体操の演習を教師と一緒に確認しながら、行うことができた。 |
| o | A | A | A |
| p | A | A | A |
| q | A | A | A |

| | | | |
|---|---|---|--|
| r | A | B ・教師と一緒に自分の係の取組を仲間に伝えることができた。 ・仲間の活動の様子に関心をもつことが難しかった。 | B ・教師と一緒に用具の写真カードと実物をマッチングし、所定の場所へ運ぶことができた。 |
|---|---|---|--|

| 単元構成の評価 | | | |
|--|---|--|--|
| 実施時期： <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | 授業時数： <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 |
| 単元の目標設定について（資質・能力との整合性は図れていたか、児童生徒の実態に合っていたか） | | | |
| 知識及び技能 | <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | |
| 思考力・判断力・表現力 | <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | （自分の係活動について発表することはできた。仲間の係活動に注目したり自分の考えを仲間に伝えたりすることは難しい生徒がいた。） |
| 学びに向かう力、人間性等 | <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | （生徒の実態により係活動を理解して主体的に活動することができる生徒と教師の支援を受けながら活動している生徒がいた。主体的に活動できるための手立てを工夫する必要がある。） |
| 単元の目標の達成・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て | | | |
| 主体的な学び | <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | （生徒の実態に応じ、仲間の活動に興味をもてるような具体的な支援を共有する必要がある。） |
| 対話的な学び | <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | （Zoomの活用の際、場面の切り替えや進行をもっとスムーズに行い、生徒がより集中して授業に取り組むことができるようにするべきだった。また、ホワイトボードやカードといった自分の考えや思いを表現しやすいものを活用させるなど、言語表出が難しい生徒への支援も充実させた方がよかった。） |
| 深い学び | <input checked="" type="checkbox"/> よい | ・ <input type="checkbox"/> 要改善 | （体育祭に向けて意識して取り組むことができたが、他の行事や今後の学校生活、家庭生活においても活かしていく内容についてもう少し掘り下げてよかった。） |
| 他の学習との関連 | （ねらいの共有） <input checked="" type="checkbox"/> よい | | |
| 地域との関連 | （題材の共有） <input checked="" type="checkbox"/> よい | | |
| その他特記事項等 | | | |
| <p>・生徒が体育祭に向かって協力して取り組む姿を見ることができたのは大きな成果である。生徒同士が学びを深めていくことができるよう、今後もICTを効果的に活用するなどしていきたい。</p> <p>・「自分の考えを伝える」「協力して活動」はどのような姿になるかなど、評価の際の生徒の具体的な姿について共通認識をもてるようにしていくことが大切だと考える。同様に、目的意識をもったり自ら進んで活動に取り組んだりできるような具体的な手立てについて理解を深めることも重要だと考える。</p> | | | |

※単元の計画

| 次 | 時 | 学習概要 | 評価計画 | | | 単元の目標の達成やこれからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て | | | |
|---|-------------------|---|---|---|------------------------------|---|---------------------------|----------------------|--|
| | | | 【知識・技能】 | 【思考・判断・表現】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び | |
| 一 | ① (5/28) | 「きりのめ体育祭について知ろう」 (全体) 体育祭の日程や内容、係活動について知る。 | 体育祭の日時、日程、競技内容、係活動について知る。 | | | | 動機付け 見通しをもたせる | | |
| | ② (5/28) | 「きりのめ体育祭の目標を考えよう」 (各学級) 競技、係の個人目標及び学級での目標について考える。 | | 競技や係活動にどのような目標で取り組むかを考える。仲間と協力して学級の目標を決める。 | 体育祭の見通しを基に、目標を決める取組に意欲関心を示す。 | | 受容・表出の支援 話し合い活動 | 思考・判断・表現の場面設定 | |
| 二 | ③～④ (6/8) | 「きりのめ体育祭の係活動について考えよう」 (各係) 各係の内容や役割を知り、係の仲間と協力して活動の準備をする。 | 係活動の内容について知り、準備や練習に取り組む。 | 係の役割について考え、具体的な活動を通して、自分の力を発揮したり、仲間の様子に注目したりする。 | 係の活動に興味関心をもち、仲間と意欲的に取り組む。 | 活動の明確化 学習目的の明確化 | 話し合い活動 役割分担 協力場面の設定 | 思考・判断・表現の場面設定 | |
| | ⑤～⑥ (6/11) | 「きりのめ体育祭を成功させよう1」 (各学級) 体育祭に向けて係の活動を報告し合い、家族への宣伝や体育祭を盛り上げる活動に学級の仲間と取り組む。 《地域を意識》 | 各係で決めたことについて報告し合い、体育祭を宣伝すること、「いか踊り」で盛り上げることを知る。 | 報告を基に競技のために仲間と協力し合うことに気付く。家族に体育祭について伝えたり、「いか踊り」で盛り上げたりする方法を考える。 | | 見通しをもたせる | 教師や仲間同士の対話 | | |
| | ⑦～⑧ (6/16) | 「きりのめ体育祭の準備をしよう」 (各係) 前回の取組を思い出して、各係が仲間と協力しながら必要な準備に取り組む。 | | 係の活動を理解して、自分なりに工夫したり、仲間と協力したりして、体育祭の準備をする。 | 自分の役割に進んで取り組んだり、仲間と協力したりする。 | | チームで解決し合う場面設定 | 知識技能の定着・活用・応用・反復する機会 | |
| | ⑨ (6/17) 本時 | 「きりのめ体育祭を成功させよう2」 (全体) 各係の成果を報告し合い、体育祭の成功に向けて、最後に必要な確認をする。 | | 体育祭成功に向けて、各係の取組の成果に気付き、当日の予定や役割を確認する。 | | | 互いの活動を見合う 発表場面の設定 | | |
| 三 | ⑩～⑪ (6/22) | 「きりのめ体育祭を振り返ろう」 (全体→係→学級) 体育祭での取組を振り返り、個人、学級、各係としての成果を確かめる。 | 体育祭を振り返り、目標を評価して、自分や仲間の良かった点について発表する。 | 体育祭での自他の評価の交流に進んで参加する。 | | 話し合い活動 | 思考・判断・表現の場面設定 | | |

これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力を育むための単元デザインシート（1単元 ver）

| | | |
|------------------|------------|------------------|
| 学部の核：体育祭 | 対象学級 | 高等部 選択（スポーツ）グループ |
| 単元名：新しい体育祭を企画しよう | 指導の形態：体育活動 | 児童生徒数 |
| 実施時期：6月4日～7月2日 | 授業時数：25時間 | 担当者 |

単元の目標・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）との関連

| 単元の目標 | | くらし | しごと | よか |
|--------------|---|-----|-----|----|
| 知識及び技能 | ・体育祭の役割を知り、仲間と協力して、種目を考える。 ・ルールを守り、仲間と協力して競技を行う。 | | | |
| 思考力・判断力・表現力 | ・自分たちで考えた実施内容を表現する。 ・感染予防に努めた体育祭の内容を考え、改善策などを話し合う。 | | | ◎ |
| 学びに向かう力、人間性等 | ・安心・安全に活動できるように感染症対策を工夫しようとする。 ・仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。 | | | |

単元の目標の達成・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て

| | |
|----------|---|
| 主体的な学び | ・学習の目的を明確化し、自己決定・自己選択の場面を設定する。 |
| 対話的な学び | ・話し合い活動場面を設定し、考えを比較し、教師や仲間同士の対話を深める。 |
| 深い学び | ・自分たちが経験した知識技能の定着を図り、地域資源を活用して情報発信に努める。 |
| 他の学習との関連 | （ねらいの共有）自分たちで感染症予防を意識した種目を考え、実施する。 附特タイム：感染症予防の方法を知ろう 選択（スポーツ）： （題材の共有）健康（体づくり）：朝の運動を通して体力をつける。 |
| 地域との関連 | （地域の活用）体育祭で取り組んだことをまとめ、発信する。 |

単元の計画（※別紙資料）

単元における学習状況の評価

| | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | ・体育祭の役割を知り、仲間と協力して、種目を考えたか。 ・ルールを守り、仲間と協力して競技を行ったか。 |
| 思考・判断・表現 | ・自分たちで考えた実施内容を表現できたか。 ・感染予防に努めた体育祭の内容を考え、改善策などを話し合ったか。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・安心・安全に活動できるように感染症対策を工夫しようとしたか。 ・仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加したか。 |

単元における個別の評価及び達成度 評価基準 A：できた B：概ねできた C：できつつある

| 児童生徒 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|--|---|
| a | A | B（実施方法の改善案を自分から発表することは難しかったが、他の人の話を聞いて同調する様子が見られた。） | B（感染症対策の工夫は難しかったが、仲間と一緒に競技に取り組むことができていた。） |
| b | A | A | A |
| c | A | B（改善案を考えるまでは至らなかったが、感染予防に努めた体育祭の実施というイメージをもって話し合いをすることができていた。） | A |
| d | A | A | A |
| e | B（どんな種目がよいかを教師と一緒に考えることができたが、仲間と協力して取り組むことが難しかった。） | B（教師と一緒に発表する内容を考えながら、実施することができていた。） | A |
| f | A | A | A |
| g | A | A | A |
| h | A | B（改善案を考えることは難しかったが、感染予防がされていたかどうかの判断を行うことができていた。） | B（自分の役割を理解して、消毒作業の仕事に取り組むことができていた。） |

単元構成の評価

| | |
|--------------------------|---|
| 実施時期： <u>よい</u> ・ 要改善（ ） | 授業時数： <u>よい</u> ・ <u>要改善</u> （振り返りの中で、発信方法を考えたり、資料を作成したりする活動を充実させるためには、もう少し時間があつた方がよかった。） |
|--------------------------|---|

単元の目標設定について（資質・能力との整合性は図れていたか、児童生徒の実態に合っていたか）

| | |
|--------------|---|
| 知識及び技能 | <u>よい</u> ・ 要改善（ ） |
| 思考力・判断力・表現力 | <u>よい</u> ・ <u>要改善</u> （具体的な改善方法を考えるのが難しい生徒がいた。手立ての方法をさらに工夫する必要があった。） |
| 学びに向かう力、人間性等 | <u>よい</u> ・ 要改善（ ） |

単元の目標の達成・これからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て

| | |
|----------|---|
| 主体的な学び | <u>よい</u> ・ 要改善（ ） |
| 対話的な学び | <u>よい</u> ・ <u>要改善</u> （発言をする人が偏ってしまい、話を深めるという部分では、難しい様子が見られた。） |
| 深い学び | <u>よい</u> ・ 要改善（ ） |
| 他の学習との関連 | （ねらいの共有） <u>よい</u> ・ 要改善（ ） ・ 未実施 （題材の共有） <u>よい</u> ・ 要改善（ ） ・ 未実施 |
| 地域との関連 | <u>よい</u> ・ 要改善（ ） |

その他特記事項等

※単元の計画

| 次 | 時 | 学習概要 | 評価計画 | | | 単元の目標の達成やこれからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て | | |
|---|--------------------------|---|----------------|------------------------|------------------------|---|---------------------|---------------|
| | | | 【知識・技能】 | 【思考・判断・表現】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 一 | <u>1, 2</u> (6/4) | 「体育祭オリエンテーション」 体育祭の日時、チーム会議の場所、各チームのメンバー発表 | 体育祭の予定を知る。 | | | 興味関心を高める。 動機付け | 場の共有 | 知識技能の定着 |
| 二 | <u>3~6</u> (6/11, 14) | 「チーム会議①」 体育祭へ向けての話し合い スローガンや種目等の決定 | 体育祭の企画班の役割を知る。 | 教師の問いに対して自分の意見や考えを伝える。 | 安心・安全に活動できるコロナ対策を工夫する。 | 自己決定・自己選択の場面設定 | 考えの比較 教師や仲間同士の対話 | 思考・判断・表現の場面設定 |

| | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|------------------------------|---------------------|------------------------------|---------------------------------------|------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 三 | 7, 8 (6/17) | 「体育祭練習①」 決定した種目内容の実施 | ルールを守って 競技に取り組む。 | | 仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。 | 活動を明確化する。 | 互いの活動を見合う。 場の共有 | 知識技能の 定着 |
| 四 | 9~12 (本時 6/18、 6/21) | 「チーム会議②」 種目の実施方法の確認・修正 | | 追加や変更の感染症対策箇所を見つけ、改善策を話し合う。 | 練習場面を振り返り、より安心・安全に活動できるようにコロナ対策を工夫する。 | 振り返り場面の設定 | 話し合い活動 発表の場の設定 教師の助言 | 思考・判断・ 表現の場面 設定 |
| 五 | 13~16 (6/22、 24) | 「体育祭練習②」 改善・修正した内容で実施 | ルールを守って 競技に取り組む。 | | 仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。 | 見通しをもたせる。 活動を明確化する。 | 互いの活動を見合う。 場の共有 | 知識技能の 反復 |
| 六 | 17~19 (6/25) | 「体育祭本番」 コロナ対策に努めた内容で実施 | ルールを守って 競技に取り組む。 | | 仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。 | 満足感や達成感をもたせる。 | 互いの活動を見合う。 場の共有 | 知識技能の 反復 |
| 七 | 20~25 (6/28、 7/1, 2) | 「振り返り」 体育祭の振り返り 地域への発信 | 活動の成果を知る。 | 地域への発信方法として、どのようなものがあるかを考える。 | 他者を意識した分かりやすいまとめ方を工夫する。 | 振り返り場面の設定 | 互いの活動を見あう | 地域資源の 活用 他の学習場面への 般化 |